



2023年3月期 第2四半期 決算補足説明資料

株式会社 鶴見製作所
証券コード：6351

〈2022年11月14日〉

2023年3月期 第2四半期

- 国内部門において、環境に配慮した電極式水中ポンプの売上が好調・豪雨対策等のインフラ整備関連事業の受注拡大
- 海外部門が好調
- 為替レート（円安）が業績に寄与
- 2023年3月期の連結業績予想数値を上方修正
- 為替動向の不透明・原材料や物流経費の高騰

2023年3月期 第2四半期 連結決算ハイライト

Point

- 海外子会社の業績が引き続き好調であり、連結対象子会社の増加要因も加わり、売上高、経常利益、当期純利益が伸長
- 為替レート(円安)が業績に寄与

	第2四半期累計	前年同期比	通期予想
■ 売上高	260億円	+39億円	550億円
■ 営業利益	25億円	+1億円	57億円
■ 経常利益	50億円	+21億円	75億円
■ <small>親会社株主に帰属する</small> 当期純利益	32億円	+12億円	49億円

2023年3月期 第2四半期 連結実績

Point

- 物流経費の高騰により、販管費が増加
- 大幅な円安により、営業外収益が増加

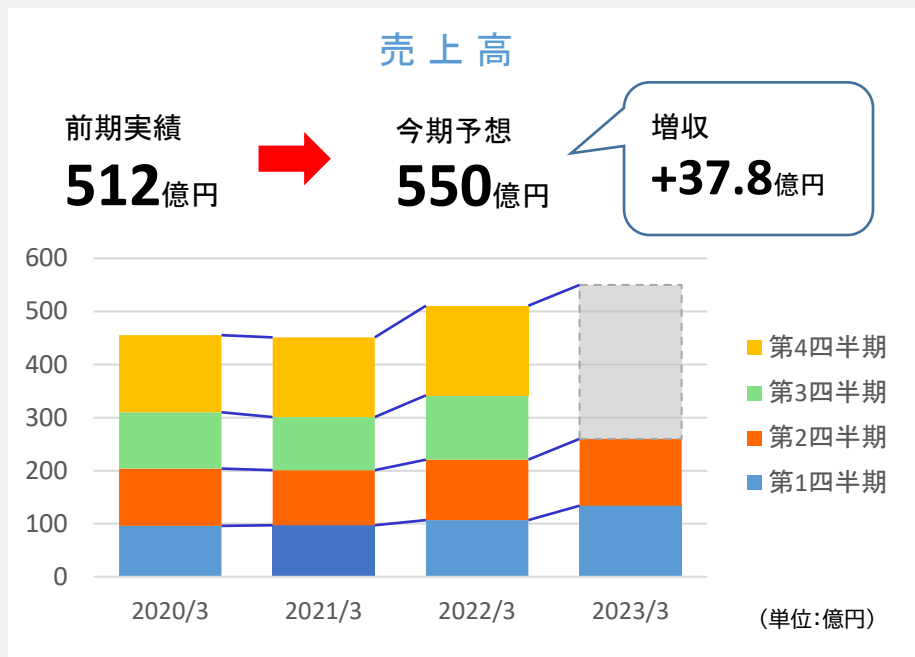
(単位:百万円)	2022年	2023年 第2四半期 累計	2023年			増減	
	第2四半期 累計		中間予想	通期予想	進捗率	金額	%
売上高	22,151	26,086	26,000	55,000	47.4%	3,934	17.8%
売上総利益	7,436	8,716				1,279	17.2%
販売費及び 一般管理費	5,015	6,149				1,133	22.6%
営業利益	2,421	2,567	2,560	5,700	45.1%	146	6.0%
営業外収益	505	2,575				2,070	409.9%
経常利益	2,915	5,049	5,040	7,500	67.3%	2,133	73.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,068	3,258	3,250	4,900	66.5%	1,190	57.6%
参考 為替レート 対米ドル(円)	111.95	144.81					

(期末レート(1USD) 2022/3末 122.41円)

連結貸借対照表

(単位:百万円)	2022年 3月末	2022年 9月末	増 減
資産合計	87,299	91,198	3,898
流動資産	52,940	54,288	1,348
固定資産	34,359	36,909	2,550
負債合計	15,451	14,496	▲955
流動負債	12,717	11,878	▲838
固定負債	2,733	2,617	▲116
純資産合計	71,848	76,701	4,853
自己資本比率	81.1%	82.8%	1.7%

売上高推移表（連結）



Point

- 上期の海外部門での業績好調により今期予想を上方修正
- 国内における環境に配慮した電極式水中ポンプの売上が好調
- 北米を中心とした建設市場・鉱山市場での活発な需要が継続
- 東南アジアでのインフラ整備市場が引き続き堅調

営業利益推移表（連結）

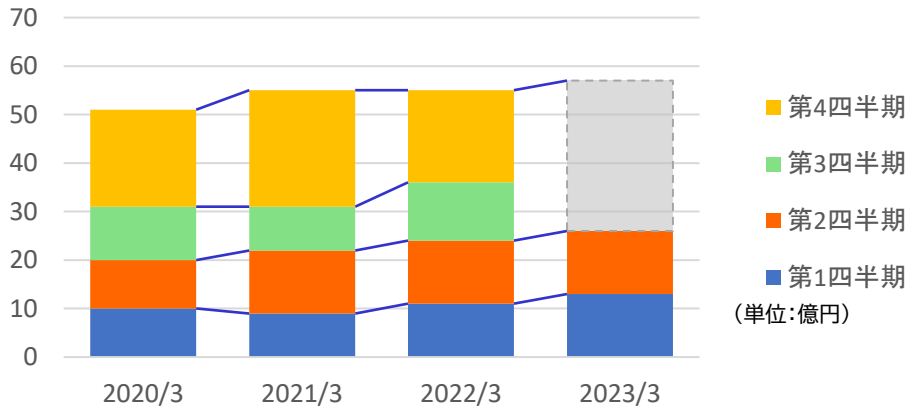
営業利益

前期実績
55億円



今期予想
57億円

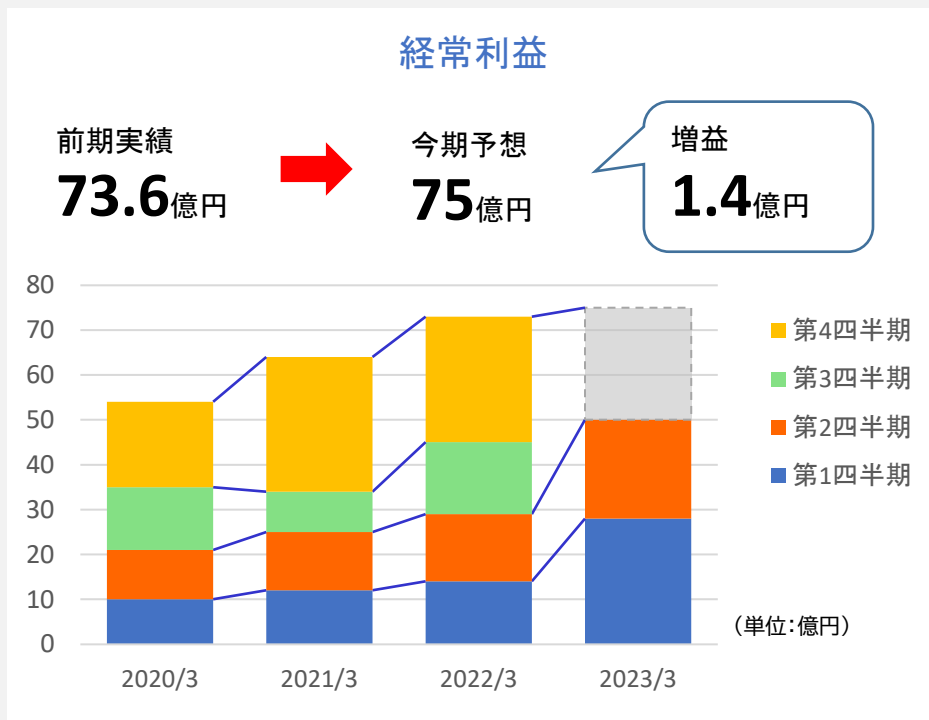
増益
+2億円



Point

- 北米・東南アジアでの需要が増加したが、部材価格の高騰と販管費（特に物流経費）の増加により、前年比6%の伸びに留まった
- 部材価格の高騰と販管費（特に物流経費）の増加により売上高営業利益率は9.8%（前年比▲1.1%）と低下

経常利益推移表 (連結)



Point

- 今期予想を上方修正
(急激な為替レートの変動による要因大)
- 為替レート(円安)の影響により、
経常利益は前年比73.2%の大幅増益

売上高・営業利益（需要先別）

Point

- 国内部門：売上は、前年同期比▲2%の減収、利益面では原材料価格や物流費の高騰により営業利益は前年同期比▲23.8%の減益
- 海外部門：北米・東南アジアの売上高・営業利益が伸長

（単位：百万円）

	2022年3月期 第2四半期累計		2023年3月期 第2四半期累計	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
国内部門	15,632	1,606	15,323	1,225
前年増減率	+2.5%	+2.5%	-2.0%	-23.8%
海外部門	6,519	814	10,763	1,342
前年増減率	+31.0%	+28.0%	+65.1%	+64.8%
合計	22,151	2,421	26,086	2,567
前年増減率	+9.5%	+9.9%	+17.8%	+6.0%

地域別売上高

Point

- 国内部門：建設機械市場は好調に推移、インフラ整備関連事業の受注は拡大したが工具工場設備市場の需要は横ばい。
- 海外部門：北米を中心とした建設市場・鉱山市場の活発な需要により伸長

(単位:百万円)

	日本	海外全体	海外内訳			合計
			北米	東南アジア	その他	
2023年3月期 第2四半期累計	15,323	10,763	6,880	3,270	613	26,086
2022年3月期 第2四半期累計	15,632	6,519	4,129	1,757	633	22,151
2021年3月期 第2四半期累計	15,254	4,976	3,080	1,242	654	20,230
2020年3月期 第2四半期累計	14,773	5,676	3,668	1,290	718	20,449

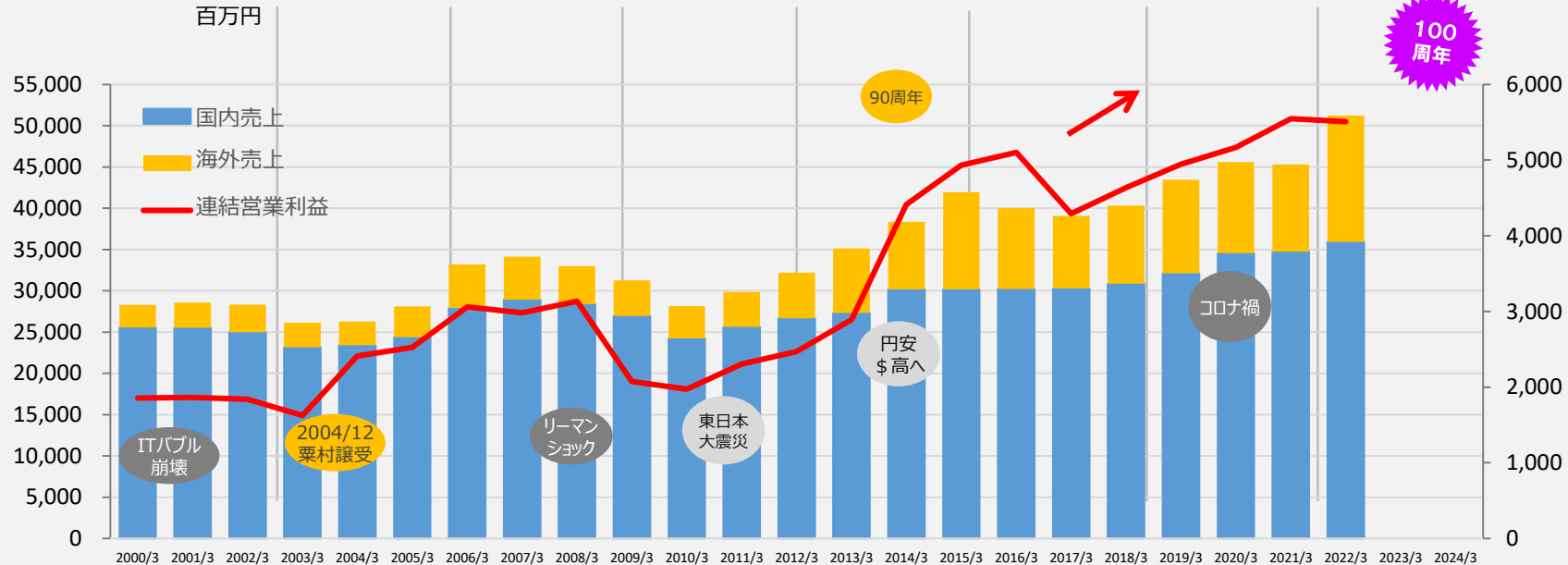
※・今期より、東南アジアにベトナム・タイ、日本に㈱テクノロジーサービス北條を追加しました。
 ・「その他」の区分は、中国の現地法人の事業活動を含んでおります。
 ・グループ内取引の消去後の数字です。

株価の状況と配当



	年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 (予想)
1株当たり 配当金 (円)	中間配当	10	12	12	13	14	14	15	18
	期末配当	10	12	12	13	20	20	21	22
	記念・特別配当	5			5		2	4	2
	年間配当	25	24	24	31	34	36	40	42

過去20年の連結売上高と営業利益



	Σ2003	NS2006	a2009	Revolution 2012	Acceleration 2015	Execution 2018	BASE100	NEXT100
テーマ	水中ポンプのリーディングカンパニーへの挑戦	新しい時代への変革	より付加価値のある技術・製品・サービスの提供を目指すグローバル企業へ	技術志向型企業への変革	グローバルスピード3倍速の実現	取組み課題を着実に実行し、期日内に、確実に、結果を出す	次世代への礎づくり	2024年の創業100周年へ向けて、さらに次の100年企業へ
副題	環境を最優先としたグローバル企業へ	環境を最優先としたグローバル企業へ	環境を最優先としたグローバル企業へ	環境を最優先としたグローバル企業へ	従来からのグローバル戦略の加速度的な発展を通じ、世界市場のポジションングを狙う!	グローバルグループとしての確固たる体制を築き、建機の優位性を保ちながら、設備市場を深耕する	2024年の創業100周年へ向けて、さらに次の100年企業の礎となる事業基盤を確立する	施策を確実に実行し、目標必達する